

これからは、 スポーツのち 農家。

課題

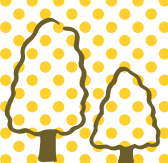
農業とスポーツを
かけ算しよう。

日本の農家が抱えている跡継ぎ問題。その問題に
答えをだすための新しいプロジェクトが始まって
います。そのカギをにぎるのが、なんとスポーツ選手。
スポーツ選手が抱えるセカンドキャリアへの不安と、
農家が抱える悩みをいっぺんに解決しながら、
地域の活性化を目指す画期的な試みです。



フレッサ福岡のみなさん

ハンドボール



先生は、
日高農園
日高 輝富さん



生徒は、
ハンドボール選手



農業は
甘くないぞ!



先生は、
日高農園
日高 輝富さん

ITOSHIMA

あまおう

挑戦

昼はいちご。
夜はハンドボール。

プロジェクトの発起人は、自身も
ハンドボール選手だった泉さん。
福岡出身で農家の親戚もいた彼が、
スポーツ選手のセカンドライフに
農業を、という構想を農家の日高
さんに相談したところ、快く了承。
ハンドボールをしつついちご栽培
を学ぶ、新しいカタチの実業団
「フレッサ福岡」がスタートしました。

みらい基金

まだまだ
はじまった
ばかり!

株式会社
Biomaterial in Tokyo
泉 可也さん



いろんな野菜つくっています。

未来への 期待

農業は甘くない。
この試合は始まったばかり。

選手たちは、全員が農業未経験者。すぐに農家として独立
できるほど、農業は甘くありません。「いちご栽培は年になつた
1回。キミは残りの人生であと何回つくれると思う?」ある
農家の言葉がいまも心に残っている泉さん。フレッサ福岡は、
農業という毎日が真剣勝負の試合に、今日ものぞんでいます。



どちらも
真剣勝負だ!



ITOSHIMA

「農林水産業みらい基金」は、
農林水のみらいをつくる
全国の活動を応援しています。

